

平成30年度 第1回 安曇野市まちづくり推進会議（推進委員会） 会議概要

- 1 会議名 平成30年度 第1回 安曇野市まちづくり推進会議（推進委員会）
- 2 日 時 平成30年7月31日（火） 午後1時30分から午後2時45分まで
- 3 会 場 本庁舎 4階 会議室401
- 4 出席者 田村会長、熊井副会長、重野委員、吉原委員、沼尾委員、栗田委員、
大澤委員、内田委員、川井委員、瀧澤委員
- 5 市側出席者 宮澤市民生活部長、小林地域づくり課長、山田地域づくり課長補佐兼ま
ちづくり推進係長、金子まちづくり推進係主査、土屋地域おこし協力隊
員
- 6 公開・非公開の別 公開
- 7 傍聴人 0人 記者 1人
- 8 会議概要作成年月日 平成30年8月9日

協 議 事 項 等

1 会議の概要

委嘱書交付

- (1) 開会
- (2) あいさつ
- (3) 自己紹介
- (4) 副会長の選出
- (5) ワーキンググループの中間報告について
 - ①検討課題とワーキンググループの構成
 - ②ワーキンググループの方向性及び進捗状況
- (6) 今後のスケジュールについて
- (7) その他
- (8) 閉会

2 会議事項概要

委嘱書交付（宮澤市民生活部長より）

大澤委員（所属団体：市社会福祉協議会）へ委嘱書を交付。

※所属団体における役職交代による。（前委員：大神委員）

- (1) 開会（熊井副会長）
- (2) あいさつ（田村会長）
- (3) 自己紹介（大澤委員）
- (4) 副会長の選出

【会長】 本会議設置要綱では副会長は2名となっている。前副会長の大神委員が交代し、
1名欠員が生じている。委員の互選により選出をお願いしたい。

※委員互選により、副会長として大澤委員が選出される。

- (5) ワーキンググループの中間報告について
 - ①検討課題とワーキンググループの構成※事務局より、ワーキンググループの構成とこれまでの検討経過について報告

【委員】公民館は地域課題解決の拠点という観点から、過去の組織改編によって市民生活部の所管となったが動きが見えない。組織改編の原点に戻り、地域課と公民館との連携を進めていただきたい。

【事務局】公民館も地域課も地域課題の解決という目的は共通しているため、お互いに連携を深めていく。

②ワーキンググループの方向性及び進捗状況

※事務局より、ワーキンググループ（福祉グループ、安全・安心グループ）について、これまでの審議内容および進捗状況について報告。

【会長】ワーキンググループの各グループについて事務局より報告をいただいた。報告内容について、ご意見、ご質問があればお願いしたい。

【委員】福祉グループで出されたいくつかの課題が示されているが、その内の一つ、「区への未加入者への対応をどうするか」が福祉においてどう課題となっているのかつながりがわからない。

【事務局】ワーキンググループ委員が実践の中で感じている課題として挙げられたものを示している。現在、出された課題を体系化し、整理した上で具体的な解決策を探ろうと進めている段階である。

【委員】区の「安全・安心部」は市内でどれくらい組織されたのか。

【事務局】部制度設置区は現在20区である。

【委員】全体を通して、結果として区の機能・負担が増える方向に進むことを懸念する。そうすると益々区に参加しない方が増えるのではないか。安全・安心グループで、交通安全と防犯を一緒にもう少し効率的にできないかという報告があったが、そのような側面を視点としてもつ必要があると考える。これまで区がやってきたことが、区でやるべきことかどうかの見直しも必要と考える。

【事務局】福祉も安全・安心も、これまで全体的な仕組みは共有できていなかった。これらを一一つ整理する中で、区の活動とどう連携が図られ効率化が進むのかを検討している。最終的に区の負担が増えるような結果にならないよう進めてきたい。

【委員】2点、まず安全・安心について、過去に子どもたちの通学路に「子どもを守る安心の家」があった。これにより「このまちはみんなで見守っている」という意識を周知することができ、防犯につながっていたと思われるが、現在はやっていないようである。次に、福祉における「見守り支え合いを受けたがらない方がいる」という課題の解決に提案であるが、防災をキーワードに、「逃げ地図」を作成している事例がある。災害時に避難するルートを1軒ごと詳細に示しておくものである。課題解決策の一つとしてこのようなことも研究材料としたらどうか。

【事務局】「安心の家」は警察で行っている。また、安全・安心について、教育委員会と連携を図っているが、防犯の仕組みについてももう少し検討が必要と考えている。

【事務局】「逃げ地図」について、ワーキンググループでの検討によらずとも研究材料とさせていただきます。

【委員】県警の「ライポくん」のスッテカーを車に貼り、何かあったらその車に声をかけて保護をするという「安心の車」がある。市社協には多くの公用車があるため、これに活用できないかということ市社協内で現在検討しようとしている。様々な市民や事業所が防犯に参加しているという体制づくりが大切。また、市社協では支え合いマップの作成を支援している。マップを作るだけでなく、これを活かし災害時の個別支援計画を作成していくことも大切と考える。

【委員】以前に、「支え合いマップ」は個人情報の関係で作れなくなったと区の担当者から聞いたがどうなのか。

【委員】個人情報の掲載については本人の同意が必要であるが、きちんと手順を踏めば問題ない。

【委員】市内で見守りをして欲しい方を市が毎年情報収集していると聞いたが、これでマップを作成しても問題があるのか。

【委員】市の方で情報収集し同意を受けたものが区へ提供されているのでこれを活用することは問題ない。

【委員】知らない区長もいるので情報共有してほしい。

【委員】支え合いや見守りの仕組みについて、市の制度等は非常に充実し、整っていることがわかった。そのため、「支え合いなどを受けたがらない市民」のより詳細な分析が必要だと考える。制度等を知らないだけなのか、人とのつながりを避けているのか、その分析を加えるとさらに良いと思われる。

【事務局】ワーキンググループではまさに現場で関わる実践者の皆さんがいらっしゃるので、お話を伺いながら分析を進めていきたい。

(6) 今後のスケジュールについて

※事務局より、推進委員会およびワーキンググループの今後のスケジュール（予定）について説明。

【会長】推進委員会としては本年度にあと2回を予定している。今後のスケジュールについてご意見があればお願いしたい。

(7) その他

【会長】その他として、委員もしくは事務局より何かありますか。特になければこれで審議を終了とする。

(8) 閉会

【副会長】以上をもちまして、平成30年度第1回「安曇野市まちづくり推進会議 推進委員会」を閉会とします。慎重審議ありがとうございました。